



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社エー・アンド・デイ  
 コード番号 7745 URL <http://www.aandd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 古川 陽  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 貞雄 (TEL) 048-593-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	17,684	2.2	△396	—	△440	—	△368	—
27年3月期第2四半期	17,308	3.7	△235	—	△415	—	△430	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △983百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △253百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△17.26	—
27年3月期第2四半期	△20.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	43,885	14,241	32.2
27年3月期	45,784	15,909	33.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 14,144百万円 27年3月期 15,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,400	7.3	1,780	4.9	1,510	64.2	980	499.7	45.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	22,459,300株	27年3月期	22,459,300株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,091,280株	27年3月期	1,091,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	21,368,049株	27年3月期2Q	21,368,053株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては大企業を中心に収益の拡大傾向が続きましたが、個人消費や輸出の低迷等もあり、実質の経済成長は停滞が見込まれる状況となりました。

米国経済においては引き続き個人消費が好調であり、緩やかな景気の拡大が続きしました。また、欧州においても全体として緩やかな景気回復基調にあるものの、物価や輸出等の面で停滞感が見られました。一方、ロシアにおいては原油安や経済制裁の影響により景気が低迷しており、厳しい状態が続きました。

中国においては景気の拡大は続いたものの、景気の減速懸念が世界の市場を動揺させたほか、減速傾向が鮮明になったことで、今後更に、日本をはじめ欧州や新興国等の実体経済に影響が及ぶことが懸念されております。

このような状況の中、当社グループは、新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な開発投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は17,684百万円(前年同期比2.2%増)、営業損失は396百万円(前年同期は営業損失235百万円)、経常損失は440百万円(前年同期は経常損失415百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は368百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失430百万円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①計測・計量機器事業

日本においては、計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)の売上は伸びなかったものの、受注は引き続き好調となりました。計量機器では当第2四半期連結会計期間に日本アビオニクス㈱から譲り受けた工業計測機器の売上が付加されたことに加え、天秤等、従来からの製品分野でも売上を伸ばしました。しかしながら、原価率の悪化及び販管費の増加によって、全体としては増収減益となりました。

米州においては景況の良さにも後押しされ、DSPシステムや計量機器で大きく売上を伸ばした上、前年同期と比べ米ドルの価値が日本円に対して上がっていることから、売上高の円換算額は大きな伸びとなりました。しかし一方で販管費も増加したこと等により、利益は伸び悩む結果となりました。

アジア・オセアニアにおいては韓国やインドで計量機器が売上を伸ばし、増収増益となりました。

この結果、計測・計量機器事業の売上高は11,298百万円(前年同期比8.6%増)、営業損失は11百万円(前年同期は営業利益86百万円)となりました。

#### ②医療・健康機器事業

日本においては、前期は消費税率引き上げの影響で医療機器・健康機器とも売上を落としておりましたが、医療機器では医療用計量器の売上が伸長しました。また、健康機器でも国内向けは新製品の投入等により売上が伸びてきたものの、海外向けでは引き続き厳しい状況が続きました。これに加えて原価率の悪化及び販管費の増加によって、全体としては減収減益となりました。

米州においては、現地通貨ベースで堅調な売上となったことに加え、前年同期と比べ米ドルの価値が日本円に対して上がっていることから円換算した売上高が伸長しました。

欧州においては、ロシアの経済情勢悪化によって健康機器の販売台数は減少したものの、値上げ等によって現地通貨ベースでの売上高は伸び、更に販管費等の削減等によって利益率は大幅に改善いたしました。しかしながら露ルーブルの価値が日本円に対して下がっていることから、円換算した売上高では、前年同期比で大きな減少となりました。

この結果、医療・健康機器事業の売上高は6,386百万円(前年同期比7.5%減)、営業利益は434百万円(前年同期比17.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は43,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,899百万円減少いたしました。これは投資その他の資産の繰延税金資産が増加したこと等により固定資産が433百万円増加したものの、主に受取手形及び売掛金の減少により流動資産が2,333百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は29,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ231百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の増加により固定負債が239百万円増加したものの、短期借入金の減少、未払法人税の減少等により流動負債が470百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は14,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,668百万円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失及び配当金の支払によって利益剰余金が減少したため株主資本が520百万円減少したこと、また為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が607百万円減少したこと、更に非支配株主持分が540百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

一部の連結子会社では税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益及び当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,536	6,073
受取手形及び売掛金	12,575	9,840
商品及び製品	6,119	6,699
仕掛品	3,646	3,749
原材料及び貯蔵品	2,860	3,020
繰延税金資産	640	669
その他	877	874
貸倒引当金	△73	△79
流動資産合計	33,181	30,848
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,239	4,224
その他(純額)	4,577	4,792
有形固定資産合計	8,817	9,016
無形固定資産		
のれん	195	236
その他	1,827	1,852
無形固定資産合計	2,022	2,088
投資その他の資産	1,762	1,931
固定資産合計	12,602	13,036
資産合計	45,784	43,885
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,808	3,795
短期借入金	13,010	12,578
1年内返済予定の長期借入金	2,659	2,673
未払法人税等	273	98
賞与引当金	838	830
製品保証引当金	142	146
その他	3,153	3,291
流動負債合計	23,886	23,415
固定負債		
社債	300	40
長期借入金	3,901	4,389
製品保証引当金	27	30
退職給付に係る負債	1,190	1,179
その他	569	587
固定負債合計	5,988	6,227
負債合計	29,875	29,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,388	6,388
資本剰余金	6,404	6,402
利益剰余金	3,920	3,401
自己株式	△772	△772
株主資本合計	15,941	15,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	12
為替換算調整勘定	△1,328	△1,892
退職給付に係る調整累計額	646	603
その他の包括利益累計額合計	△668	△1,276
非支配株主持分	637	97
純資産合計	15,909	14,241
負債純資産合計	45,784	43,885

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	17,308	17,684
売上原価	9,403	9,896
売上総利益	7,905	7,788
販売費及び一般管理費	8,140	8,185
営業損失(△)	△235	△396
営業外収益		
受取利息	11	16
持分法による投資利益	49	7
為替差益	—	30
その他	46	40
営業外収益合計	108	94
営業外費用		
支払利息	116	107
為替差損	125	—
その他	46	31
営業外費用合計	288	138
経常損失(△)	△415	△440
特別利益		
固定資産売却益	0	7
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	7
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	4	3
減損損失	19	—
特別損失合計	24	3
税金等調整前四半期純損失(△)	△417	△437
法人税、住民税及び事業税	100	153
法人税等調整額	△123	△220
法人税等合計	△23	△67
四半期純損失(△)	△394	△369
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△430	△368

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△394	△369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	0
為替換算調整勘定	158	△568
退職給付に係る調整額	△23	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△2
その他の包括利益合計	141	△613
四半期包括利益	△253	△983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△294	△976
非支配株主に係る四半期包括利益	41	△7

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	7,111	1,547	396	1,345	10,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	969	120	33	1,115	2,240
計	8,081	1,668	429	2,461	12,641
セグメント利益又は損失(△)	△4	107	2	△18	86

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,843	1,226	3,505	330	6,906	—	17,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,263	5	16	2,636	5,922	△8,162	—
計	5,107	1,232	3,522	2,967	12,829	△8,162	17,308
セグメント利益又は損失(△)	461	△99	88	74	526	△848	△235

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△848百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△673百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	計測・計量機器事業				
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計
売上高					
外部顧客への売上高	7,481	1,973	385	1,457	11,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,314	100	32	1,357	2,804
計	8,796	2,073	418	2,814	14,102
セグメント利益又は損失(△)	△131	48	△1	72	△11

	医療・健康機器事業					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,841	1,432	2,862	250	6,386	—	17,684
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,737	0	0	2,410	5,148	△7,952	—
計	4,578	1,432	2,862	2,661	11,534	△7,952	17,684
セグメント利益又は損失(△)	235	△116	324	△9	434	△819	△396

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△819百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△749百万円が含まれております。全社費用は、主に管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。